



# CHAPTER 7

## IP アドレス変更後の IM and Presence および MOC 相互運用性の検証

以前は Microsoft LCS/OCS に統合されていた IM and Presence サーバ上のホスト名または IP アドレスを変更した場合のみ、この手順の作業を実行します。Microsoft Office Communicator (MOC) サーバおよびクライアントが正しい IM and Presence IP アドレスとホスト名 (変更後)、および FQDN を反映していることを確認する場合に、この手順を実行する必要があります。

### はじめる前に

変更後の作業リストを完了します。

### 手順

- ステップ 1** 実行している場合は、既存の MOC クライアント セッションからサインアウトします。
- ステップ 2** OCS サーバまたは LCS サーバにサインインします。
- ステップ 3** OCS サーバまたは LCS サーバ上の次のタブで、[フロント エンドのプロパティ (Front End Properties)] を編集します。

タブ	アクション
[ルーティング (Routing)] タブ	<ol style="list-style-type: none"><li>名前変更された IM and Presence サーバを新しい FQDN および IP アドレスに更新します。</li><li>ワイルドカード化された IM and Presence ドメインの [次ホップ (Next Hop)] の IP アドレスを新しい IM and Presence IP アドレスに変更します。</li></ol>
[ホストの承認 (Host Authorization)] タブ	新しい IM and Presence IP アドレスおよび新しい FQDN が次のように一覧表示されていることを確認します。 <ul style="list-style-type: none"><li>[送信のみ (Outbound only)] : [N]</li><li>[サーバとして帯域を制限する (Throttle as server)] : [Y]</li><li>[認証済みとして扱う (Treat as Authenticated)] : [Y]</li></ul>

- ステップ 4** [LCS/OCS ユーザ (LCS/OCS Users)] を右クリックし、次のように編集します。
- [サーバ URI (Server URI)] を新しい IM and Presence FQDN に変更します。
  - [OK] を選択します。
- ステップ 5** OCS/LCS フロント エンド サービスを停止します。
- ステップ 6** OCS/LCS フロント エンド サービスを再起動します。

**ステップ 7** MOC クライアントにサインインし、シスコ デバイスの制御を確認します。

---

**関連トピック**

- 『Integration Note for Configuring IM and Presence with Microsoft OCS for MOC Call Control』
- 「変更後の作業リスト」(P.6-1)